PRESS RELEASE

各 位

2020 年 7 月 29 日
野村不動産ホールディングス株式会社
（コード番号：3231 東証第一部）

リリースカテゴリー

都市型コンパクトタウン	都市再生・地方創生	グローバルへの取組み	不動産テック
働き方改革	健康・介護ニーズ	社会課題	定期報告・レポート

2021 年 3 月期 第 1 四半期連結決算のお知らせ

野村不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都新宿区 代表取締役社長：沓掛 英二）は、本日、2021年３月期第１四半期連結決算（2020年４月１日～2020年６月30日）を確定しましたので、お知らせいたします。なお、詳細については、「2021年３月期 第１四半期決算短信」を合わせてご参照下さい。

＜サマリー＞

■ 2021年3月期 第１四半期の連結業績は、売上高1,364億円（前年同四半期比21.4%増）、営業利益179億円（同196.1%増）、事業利益 181億円（同186.9%増）、経常利益154億円（同282.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益88億円（同196.9%増）となりました。

※事業利益 ＝ 営業利益 ＋ 持分法投資損益 ＋ 企業買収に伴い発生する無形固定資産の償却費

■ 住宅部門・・・マンションと戸建を合わせた住宅分譲事業の計上戸数は 608 戸（前年同四半期比 400 戸増）となりました。なお、通期の計上予定に対する当第１四半期末時点での契約進捗率は 63.0%となりました。

■ 都市開発部門・・・売上高 528億円（前年同四半期比26.0%減）、事業利益 103億円（同27.2%増）となりました。これは主に、物件売却収入の減少、及び新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるフィットネス事業での店舗休業等により売上高が減少した一方で、物件売却益が増加したことによるものです。

■ サービス・マネジメント分野・・・資産運用部門、及び仲介・CRE部門は、前年同四半期比で増収増益となりましたが、運営管理部門は、主に受注工事の減少により減収減益となりました。

■ 業績予想・・・2021年３月期の連結業績予想については売上高 6,000億円、営業利益 610億円、事業利益 600億円、経常利益 490億円、親会社株主に帰属する当期純利益 310億円といたします。なお、本予想については、新型コロナウイルス感染症が当第１四半期において当社の事業活動、及び経営成績に与えた影響を考慮した上で、今後経済活動の再開が進み事業環境が緩やかに回復していくことを前提としております。

■ 配当予想・・・本年5月に発表した年間配当予想に変更はありません。

以 上

（添付資料）
2021年３月期 第１四半期決算短信
2021年３月期 第１四半期決算短信補足資料

本件に関するお問い合わせ窓口
野村不動産ホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部（上羽・金山）
ＴＥＬ０３－３３４８－８１１７ ・ ＦＡＸ０３－３３４３－０４４５